

あるってくるぶニュース

NO. 43 03. 02. 21

『あるってくるぶニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで、非営利組織の、『アルテクラブ』(Arte club) の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせするメディアです。ホームページ <http://arteclub.org> では、カラーでご覧になれます。

・・・こんな活動をしています、ご参加ください・・・ どなたでも参加できますが、会員には特典があります。

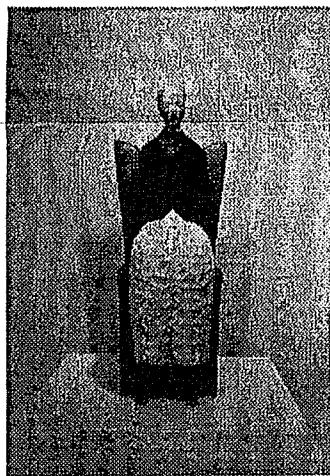
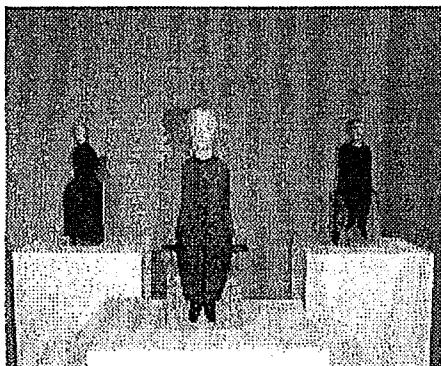
アルテクラブ ギャラリー

— 活動のご報告 —

丸尾康弘展<木彫>

2月 7、8、9、14、15、16日

群馬の桐生にお住まいとアトリエを設け、『種を蒔き、薪を割る生活の中で、自然と作りたくなつたのが人物だった』と言う丸尾さんは、この7年ぐらい、人物の坐像にこだわって制作しています。作品は、楠を彫ったものに、オイル、顔料、漆、柿渋などの塗料で彩色されています。やや前かがみの人物は、無駄なものが削ぎ落とされ、一つ一つの人物がそれぞれの人生と宇宙を抱えながら、自然の一部分として、ただ静かに佇んでいるように思えてきます。



— これからのアルテクラブ展 —

成田昭展<平面オブジェ>

5月 16日～

酒井祐二展<平面>

6月 13日～

田中千鶴子展<立体>

7月 4日～

鷹啄栄峰展<平面>

9月 5日～

中村斎子展<立体>

10月 3日～

井草裕明展<平面>

11月 21日～

高山典子展<陶オブジェ>

12月 5日～

— これからのスケジュール —

◆ 2003年 アルテクラブ企画展

パキスタン少数民族絵画展

<田島伸二・和子、和田晶子>

2月 28、3月 1、2、7、8、9日 金土日のみ開催です！

開廊時間 12:00～19:00 川越 三番町ギャラリー

★オープニングパーティー 3月 27日（木）18:00～

田島さんご夫妻による、ビデオを使ったギャラリートークがあります。パキスタンでの映像をまじえて、活動の模様をお話しいただきます。

★エンディングトーク 3月 9日（日）15:00～

一時帰国されている和田晶子さんをお迎えし、パキスタンの最近の様子をお聞きします。

今回のパキスタン少数民族絵画展は、パキスタンの少数民族・カラーシャ族の村に居住している和田晶子さんのコミュニティ活動に協力して、田島夫妻が紙漉きのワークショップなどをを行い、そこで出来た素朴で自然な風合いの紙に、カラーシャの子どもたちが自然や生活の絵を描いたものを展示いたします。

☆和田晶子：フォトグラファー

パキスタンの少数民族であるカラーシャ族の村に居住し、15年以上にわたって幅広いコミュニティ活動を行っている。

NGO一ルンブル福祉文化開発組合代表

パキスタン・カラーシャ在住

☆田島 伸二：識字教育の専門家、作家

1997年東京にNGOの国際識字文化センター（I C L C）を立ち上げた。「新しい識字教育」とは、単なる読み書き計算能力の向上ではなく、人生や世界を平和で豊かにするためのヒューマンリテラシー（人間的な知識や情報）であるべきだと田島さんは言う。パキスタンのカラーシャの村では、自然の草木を使って紙漉きのワークショップを行った。また獄中の子どもたちのための図書館設置も行っている。2月ミャンマーでの教員養成の仕事から帰国、3月始めには南アフリカで開催される文学祭に招待されている。著作「さびしい狐」、「大亀ガウディの海」、は世界の28言語で翻訳されている。

☆田島 和子：アーティスト

1973年 女子美術大学で油絵を学ぶ

1973～75年 ルネッサンスの古典技法を
イタリア、フランス、ドイツで学ぶ

1975年～ロンドン、エジプト、ギリシャ
インド、ネパール、バングラデッシュへ旅行

1998～02年 C A F 展 埼玉県立近代美術館

2003年 ベルリンで木島始氏との詩画展

これまで国内外において、多数の個展やグループ展を開催。また絵本や、創作集のイラストなどでも活躍している。

あるって くるが コンサート

活動のご報告

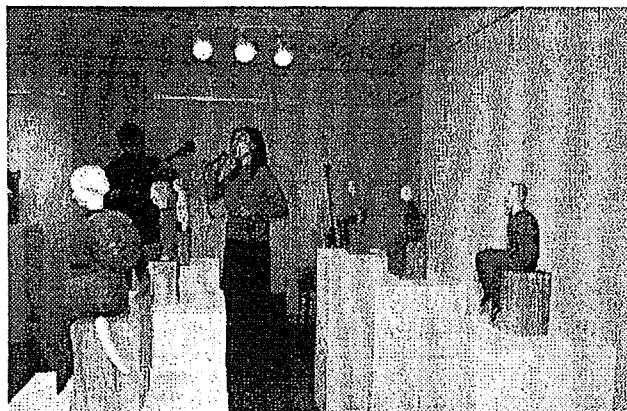
♪2月6日(木) 丸尾康弘展オープニングコンサート

今回はお馴染みの前田祐希(vo.)さんと松井秋彦(gt.)さん。Euro-Voxとして初の登場です。松井さんはCPJ=コンテンポラリー・プログレッシブ・ジャズという独自のジャンルを築こうとする作曲家にしてマルチプレイヤー。

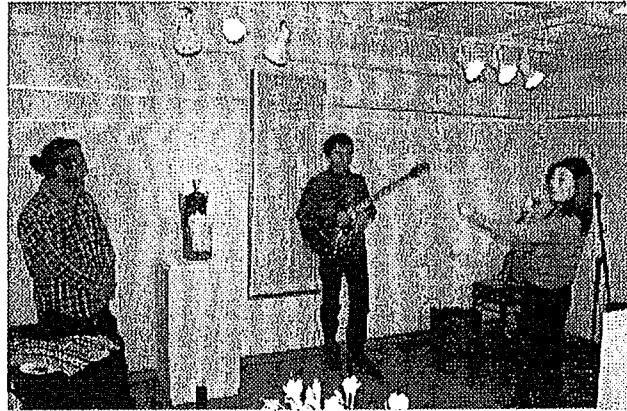
一見?一聴して難解で変則的な和音から導きだされるメロディーは、都会的な洗練のなかに、どこか既視感にも似た叙情を誘う…

丸尾さんの木像達からは心地良い楠の香があふれ、凜とした北欧の港町の風景と、そんな酒場で暖をとる自分を当てはめてみた…

(加藤)



松井さんのアクロバチックな展開の音に、どこまでもついて行ってしまう佑希さんでした。



丸尾さんの作品の人物像と、とても似ている
松井さん(今日は、ギターで)

前田祐希さんのホームページ

<http://www.bremen.or.jp/deborah/yuki.html>

松井秋彦さんのホームページ

<http://www.graphic-art.com/cpj/>

Euro-Boxは3月19日から大阪、西宮、京都、奈良でのライブ、3月27日には東京・江古田にもどり、ライブの予定です。

アルテカルブ・クッキング

“本日のためにゆー”《丸尾康弘展》

2003/02/06

- 豚肉の鎮江香酢ソース
- 魚のカレーあんかけ
- 大根の葱油風味あえ
- 鶏肉の陳皮(みかんの皮)煮込み
- 三色ピーマンの甘酢づけ
- 豆腐ナゲット
- 卵とアボガドのサラダ
- たっぷりパセリのじゃがいもサラダ

- チョコレートケーキ

Food Coordinated & Cooked by CHIAKI

- 菜の花とオリーブライス(MAKI Special)

千秋さんが主催する“Chiaki Table Studio”的HPができました。スタジオで開かれるイベントや教室のご案内などが載っています。美しい写真もご覧になれます。URL http://www5d.biglobe.ne.jp/~chiaki_t/



カラフルな見た目を(香りと美味しさも)、お伝えできるのが、とっても残念です。

♪バキスタン少數民族絵画展のオープニングはキャラ

リートークになります。

5月からの音楽をお楽しみに!

あるつくる ワークショップ

—活動のご報告—

★「アルテクラブ」がネットワークしている、他の地域で活動しているグループのお知らせです。

応援してま～す！

「越生町・緑とせせらぎを守る会」

県立公園「さくらの郷」計画は、現在県の財政難により見合わせられておりますが、今までのところ、動植物調査と雇用促進事業の一環としての間伐作業が行われていました。広葉樹の混合林が重要と考える「守る会」では、大高取山の自然と人々の生活の共生を目指して、予定地の将来についての提案をすることが必要だと考えています。幅広い皆様のご意見をお聞かせ下さい。

<越生町・緑とせせらぎを守る会> 代表 中村克彦
事務局 〒350-0415 入間郡越生町上野92
俵木栄一 電話 049-292-2717

昨年12月の越生の様子です。



虚空蔵尊の裏山、広葉樹の多い部分の森は明るい。



ただの水溜りのようですが、イノシシのヌタ場です。

ホームページ

<http://www.seseragi.pos.to>

—これからのスケジュール—

□「アルテクラブ」は、市民の自主的な参加によって、様々な芸術活動やまちづくり運動を自ら企画、運営し、町に住むことを楽しみたいと考えている会です。みなさんのご提案をお待ちしています。

「アルテクラブ」は、薄く、広く、皆様のご支援を受けたいと考えています。年会費3,000円の会員が一人でも多く参加していただけるとうれしいです。

*ギャラリー会場担当ボランティアを募集しています！アートサポーターとして、参加してみませんか？

2月 28日（金）前半 12時～4時、後半 4時～7時

3月 1日（土）前半 12時～4時、後半 4時～7時

2日（日）前半 12時～4時、後半 4時～7時

7日（金）前半 12時～4時、後半 4時～7時

8日（土）前半 12時～4時、後半 4時～7時

9日（日）前半 12時～4時、後半 4時～7時

*前回は、小野寺愛美さん、大島さん、植松さん、小倉さん、新井さん、高桑さん、が担当されました。

*会場担当者は時間が拘束されます。参加された方にはポイントが付きます。今までの提供作品会員割引20%に加え展示作品もポイント獲得数に応じて最大30%off（例：ポイント獲得数10の方は10%offとなります。お時間のとれる方は、草野まで連絡して下さい。

*『第2回川越を描くビエンナーレ』

<アルテクラブ>は、実行委員会に参加しています。

応募作品受付ボランティア — 4月 18、19、20日

（協）バンテアン

川越市問屋町 1-8

Tel 049-224-5101

会場設営ボランティア — 6月 8、9、10日

川越市立美術館

川越市郭町 2丁目 30-1

Tel 049-228-8080

平成15年6月11日～20日の展示では、会期中の会場係りを、他の団体と一緒に担当します。今年の会場は、昨年12月に開館した、川越市立美術館です。

参加を希望される方は、アルテクラブ事務局の草野まで、連絡して下さい。皆さんのご参加をお待ちしています。

アルテクラブ事務局の連絡先は下記です。

または、草野 携帯 090-3699-0936

— 建築見学会・まち歩き —

綱町三井俱楽部でお茶を & 芝浦カナルタウン今昔散歩
次ページをご覧下さい。

三番町ギャラリー
川越市南通町 14-3
電話 049-226-7735

アルテ クラブ 事務局
草野建築設計事務所
川越市南通町 14-3-102
電話 049-227-8176
ファックス 049-227-8178
e-mail kusano@arteclub.org
URL <http://www.arteclub.org>

網町三井俱楽部でアフタヌーンティー＆芝浦カナルタウン今昔散歩

網町三井俱楽部

高い天井、豪華なシャンデリア、ぜいたくな調度品に彩られた大食堂。緑の芝生に噴水が見事な洋風庭園。初夏のツツジ、秋の紅葉が美しい日本庭園。ここを舞台に、かつて上流階級が華やかな社交を繰り広げた。三井家の別邸として建てられたこの洋館は、財閥の迎賓館としては草分け的な存在だ。「東京建築回顧録Ⅱ」より

芝浦カナルタウン

江戸湊と呼ばれていた頃、慶長8年（1603）に埋め立てが行われて日本橋を中心とした内港の形ができ、さらに慶長17年（1612）改築があり、両国あたりから芝浦にかけての隅田川沿岸を外港と称し、江戸の舟運が発達した。この頃、芝浦は干潟で漁場でもあった。城下町として発達した江戸へは、各地から物資が集まり、芝の海岸、汐入などに陸揚げされた。大名もそれぞれ海岸近くに蔵屋敷を設けていた。「二十六夜待ち」と称する月見の行事（民族的な信仰の行事）があるなど、風光明媚で漁業従事者と商人達あいての花柳界もあった。明治には海岸線に沿って東海道線が敷設された。1846年から1967年まで、時代ごとに8枚の地図を見ながらたどる、今は昔の芝浦運河のまち（カナルタウン）

期 日 2003年3月14日（金）

集 合 午後2時 当日の連絡先 草野携帯 090-3699-0936

場 所 港区立港郷土資料館玄関前（港区芝5丁目28-4、TEL 03-3452-4966）
JR「田町」駅下車徒歩5分、都営地下鉄三田線「三田」駅下車徒歩2分

コース 港区立港郷土資料館前～慶應義塾大学正門前～網坂～三井俱楽部（見学会・お茶とケーキ）
～イタリア大使館前～三田駅前～鹿島神社～協働会館前（華やかなりし花柳界の面影を伝える近代和風建築：仮囲いの外から見えます）～日の出埠頭～湾岸食堂波止場店（休憩）
～浦島橋～潮路橋～昔の都電の跡～霞橋～香取橋～鹿島橋～三田駅

料 金 1,200円（三井俱楽部のお茶とケーキ代1,000円、資料代200円）*10名以下の場合はお茶付きませんので、無料になります。

申し込み受付 三井俱楽部に前もって見学会参加人数をお知らせしますので、3月6日（木）までに、事務局まで、お申し込み下さい。

